

成年後見等申立ての説明書

この説明書は、成年後見等の申立てを考えている方のために、申立て準備の流れ、必要な書類などについてまとめたものです。申立てをする際は、この説明書に沿って準備をしてください。

注意！

この説明書は「法定後見制度（成年後見・保佐・補助）」の申立てを対象としています。「任意後見制度」（本人に十分な判断能力があるうちに、将来、本人の判断能力が不十分な状態になることに備え、あらかじめ任意後見契約を締結し、本人を援助する制度）のためのものではありません。任意後見制度につきましては、お近くの公証役場にお問い合わせください。

札幌家庭裁判所後見・財産管理センター

（2019年4月版）

目 次

後見申立て前に知っておく10のポイント！	1ページ
成年後見事件の手続の流れ	4ページ
申立て準備の流れ・注意事項	5ページ
「登記されていないことの証明書」の取得方法	7ページ
申立てに必要な本人の財産関係資料	8ページ
財産関係資料のコピーの取り方	9ページ
申立前チェックリスト	10ページ
《記載例》 後見開始申立書，保佐開始申立書，補助開始申立書 後見予算表，財産目録（1），財産目録（2）	11ページ

★後見等申立て前に知っておく10のポイント！

(※ 保佐人・補助人も同様です)

1. 成年後見制度には、当初の目的を達成しても後見人の職務は終わらなかったり、後見人に報告義務が生じるなど、あらかじめ理解しておいていただきたい事項があります。最寄りの家庭裁判所で説明を受けるなど、制度を十分理解していただいた上で、申立てをするようにしてください。

2. 後見開始の申立ては、申立人の判断で自由に取り下げることができません。家庭裁判所の許可が必要になります。

※ 例えば、申立書に記載した候補者が後見人に選ばれる見込みがないことや実際に選ばれなかったことを理由とする取下げは認められません。

3. 後見人は本人（援助の必要な方）の財産を適切に維持し管理する義務がありますので、本人の財産を後見人自身のために使用すること、親族等に贈与・貸付けをすることは認められません。後見人は本人の財産状況だけでなく、心身や生活の状況も踏まえて、支出の是非を判断する必要があります。

※ 後見等が開始されると支出が不相当とされる可能性のあるもの（一例）

- ・ 見舞いに訪れる親族の小遣い等
- ・ 後見人名義のローン返済
- ・ 金銭の貸し付け・寄付
- ・ 後見人または親族への贈与（相続対策の贈与を含む）
- ・ 本人が経営している会社法人の負債の返済

4. 以下の場合には、本人の同意が必要です。

(1) 保佐を開始する場合で、保佐人に代理権を付与する場合

(2) 補助を開始する場合（補助人に代理権・同意権を付与する場合を含む）

※ 本人の同意については、申立時の面談の際に確認させていただきますので、申立面談時には本人も同伴いただくようお願いしています。

5. 申立人が希望した人（候補者）が後見人に選任されるとは限りません。

後見人の選定は、本人の状況、所有財産の規模、予想される後見業務、後見人候補者の適性等により、裁判所が適任だと考える後見人を選任します。配偶者や子、その他同居の親族でも後見人に選任されるとは限りませんし、上記事情により専門職等（弁護士・司法書士・社会福祉士等）の第三者が後見人に選ばれる可能性もあります。また、親族候補者が選任された場合でも、専門職の後見人（複数選任）や後見監督人が選任される場合があります。

(3ページの別紙「申立人が希望した後見人等（候補者）が選ばれない可能性がある例」を参照)

※ 後見人の人選については、不服申立てはできません。

※ これまでに、後見人等候補者自身又はその親族が、本人との間で訴訟や調停をしたことがある場合は、候補者身上書で必ず申告してください。

※ 後見人や後見監督人から請求（報酬付与の申立て）があった場合には本人の財産から報酬を支払うこととなります（本人以外の親族等が報酬を負担することはありません）。報酬額は、後見人の業務内容を踏まえて、本人の生活に支障が生じない限度で裁判所が決めます。

※ 本人が死亡すると後見人の職務は終了し、後見人は2か月以内に本人財産の収支を計算及び精算し、相続人に対して残余財産を引き継ぐ法的義務があります。ただし、後見人の職務に本人死亡後の遺産分割手続は含まれません。

6. 後見人の職務は「本人の判断能力が完全に回復」又は「本人が死亡」するまで続きます。

※ 遺産分割、不動産売買等の当初の目的を達成しても、後見人の職務は終わりません。

※ 後見人が病気等で職務を継続することができなくなった場合は、後見人の辞任及び選任の申立てをしてもらい、新たな後見人を選ぶことになります。

7. 家庭裁判所が必要と判断する場合には、本人や親族に対する調査や照会を実施する場合があります。

8. 申立人が裁判所に提出する書類は、他の親族から閲覧（見ること）・謄写（コピーすること）の申請があった場合、裁判所が相当と認める場合には許可されます。

9. 後見開始の申立てにかかった費用は、原則、申立人の負担となります。

※ 原則、後見開始の審判後に本人の財産から精算（支出）することはできません。

10. 後見人は、家庭裁判所又は後見監督人の監督を受けます。

※ 後見人は、裁判所に対し、後見事務の報告や財産目録を提出する法的義務があります。通常は、毎年1回（本人の誕生日の末日まで）に裏付け資料（通帳等のコピー）を添付して提出していただきます（裁判所から事前に提出の催促はしません）。

※ 後見人が本人財産を不適切に管理した場合は、後見人を解任されるほか、民事責任（損害賠償請求等）や刑事責任（業務上横領罪等10年以下の懲役）を問われることもあります。

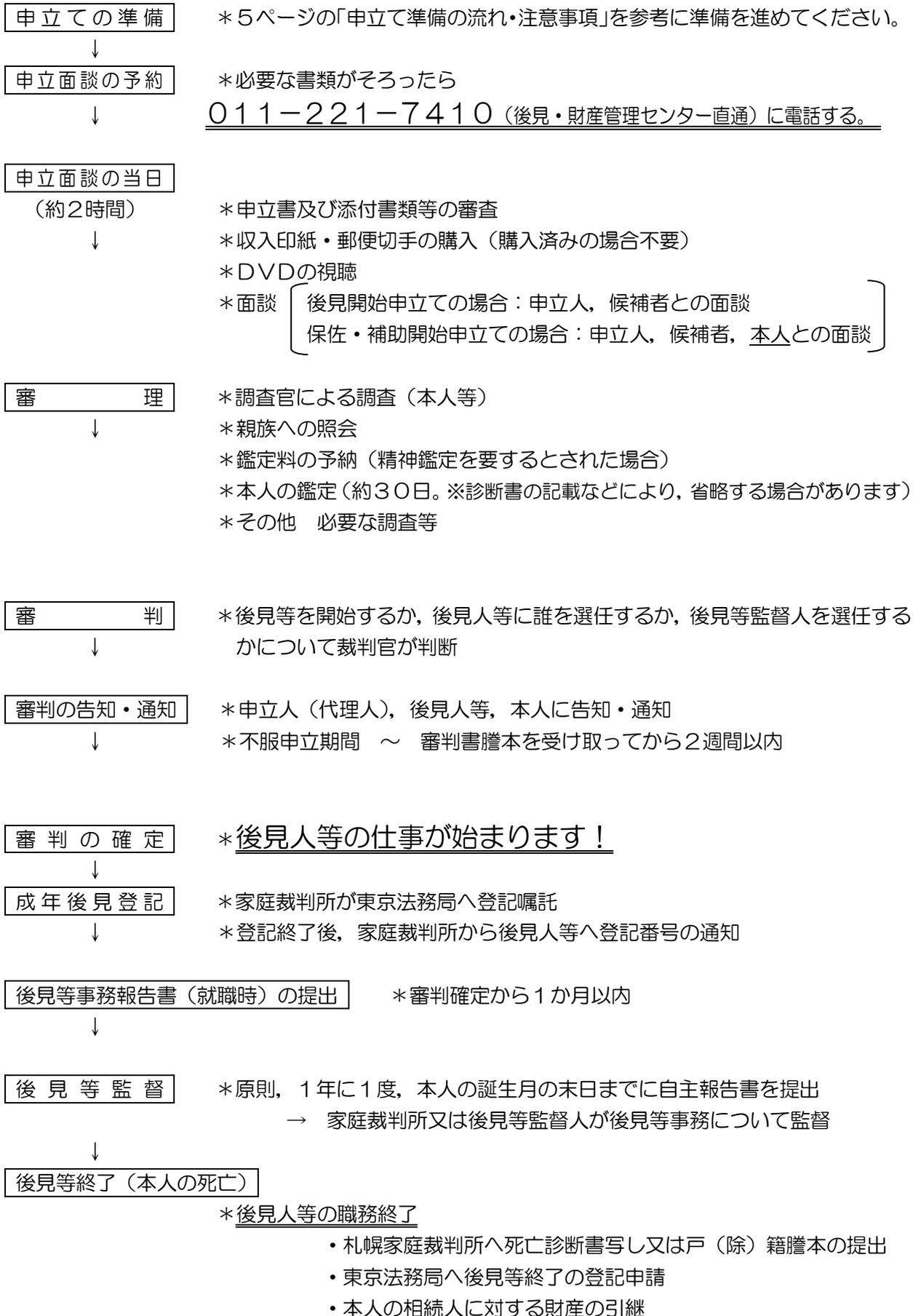
※ 後見人は、裁判所や後見監督人の監督にしたがって、本人のための財産管理を行わなければならないが、必ずしもご親族の希望に沿った財産管理を行うことができるとは限りません。

申立人が希望した後見人等（候補者）が選ばれない可能性がある例

（後見人等に選ばれたとしても、後見監督人等が選任される可能性もあります）

- (1) 親族間に意見の対立がある場合
- (2) 預貯金等の額や種類が多い場合
- (3) 不動産の売買や生命保険金の受領など、申立ての動機となった目的が重大な法律行為である場合
- (4) 本人について、訴訟・調停・債務整理等、法的手続を予定している場合
- (5) 遺産分割協議など後見人等候補者と本人との間で利益相反する行為について後見監督人等に本人の代理をしてもらう必要がある場合
- (6) 後見人等候補者と本人との間に高額な貸借や立替金があり、その清算について本人の利益を特に保護する必要がある場合
- (7) 従前、本人との関係が疎遠であった場合
- (8) 賃料収入など、年によっては大きな変動が予想される財産を保有するため、定期的な収入状況を確認する必要がある場合
- (9) 後見人等候補者と本人との生活費等が十分に分離されていない場合
- (10) 申立て時に提出された財産目録や収支状況報告書の記載などから、今後の後見人等としての適正な事務遂行が難しいと思われる場合
- (11) 後見人等候補者が後見事務に自信がなかったり、相談できる者を希望する場合
- (12) 後見人等候補者が自己又は自己の親族のために本人の財産を利用（担保提供を含む。）し、又は利用する予定がある場合
- (13) 後見人等候補者が本人の財産の運用（投資）を目的として申し立てている場合
- (14) 後見人等候補者が健康上の問題や多忙などで適正な後見等の事務を行えない、又は行うことが難しい場合
- (15) 本人の財産状況が不明確であり、専門職による調査を要する場合

成年後見事件の手続の流れ



申立て準備の流れ・注意事項

申立ての準備をするときは、以下の「STEP1～11」をチェックしながら、準備を進めてください。
なお、以下の手順はあくまでも参考ですので、ケースによっては、これと異なる場合もあります。

- (1) ① パンフレット「成年後見制度-利用をお考えのあなたへ-」と、この説明書の「★後見申立て前に知っておく10のポイント！」(1～2ページ)を読む。
② 申立て先の家庭裁判所を確認(本人の住民票上の住所ではなく、生活の本拠がある場所になります。) ※ 申立て先が不明の場合は家庭裁判所にお問い合わせください。

STEP 1

札幌家庭裁判所(本庁)に申立てのできる地域:札幌市, 江別市, 恵庭市, 北広島市, 千歳市, 石狩市, 石狩郡(新篠津村, 当別町)

- ③ 申立人が「本人」又は「本人からみて配偶者または4親等内の親族」か確認

4親等内の親族の例

(本人から見て) 親, 祖父母, 子, 孫, ひ孫, 兄弟姉妹, 甥, 姪, おじ, おば, いとこ, 配偶者の親, 配偶者の子, 配偶者の兄弟姉妹

※ ご不明の場合は家庭裁判所にお問い合わせください。

- (2) 「本人情報シート(成年後見制度用)」(書式集「本人情報シート関係」)を準備する。
※ 本人の親族以外の方で、職務上の立場から日頃より本人を支援している福祉関係者の方(例えば、ケアマネージャー(介護支援専門員), ケースワーカー, 医療ソーシャルワーカーなど)に作成を依頼していただくようお願いいたします。仮に、そのような福祉関係者の方がいない場合には、本人の状況を把握している関係者のうち、介護士などの福祉・介護の専門的知識を有する方に協力していただくことも考えられますが、シートが準備できない場合でも下記(3)の診断書の作成を医師に依頼することはできます。

STEP 2

- (3) 診断書・同附票(書式集「診断書関係」)の作成を医師に依頼する(上記(2)の「本人情報シート」を準備できている場合には、完成したシートのコピーをとり、コピーを手元に保管した上でシートの原本を診断書書式と一緒に医師に交付してください。シートのコピー(医師から原本が返還された場合には原本でも可)は、他の申立書類一式と共に裁判所に提出してください。)
※ 主治医(精神科医, 神経内科, 脳神経外科)に作成を依頼するのが一般的ですが、それ以外の医師でも構いません。

STEP 3

- (4) 後見人等の候補者に「後見人等候補者身上書」(書式集10～11ページ)を作成してもらおう。

STEP 4

- (5) 親族(未成年者, 甥・姪を除く推定相続人)に同意書(書式集9ページ)を作成してもらおう。
※ 「推定相続人」とは、例えば、本人に配偶者と子どもがいる場合は、配偶者と子ども全員です。子どもがいない場合は、配偶者と両親です。子どもも両親もいない場合には、配偶者と兄弟姉妹です。同意書は必要な部数分コピーをして作成してください。

STEP 5

- (6) 以下の戸籍等を取得する。(※ 戸籍, 住民票等は発行後3か月以内のものが必要です)

申立人関係

- ① 戸籍謄本(又は戸籍全部事項証明書)
② 住民票(マイナンバーの記載ないもの)又は戸籍附票

STEP 6

本人関係

- ① 戸籍謄本
※ 全部事項証明書が交付される場合は、改製原戸籍も必要です。
※ 本人と申立人との関係を戸籍上明らかにする必要がありますので、上記に加え、古い戸籍も提出していただく場合もあります。
② 住民票(マイナンバーの記載ないもの)又は戸籍附票

候補者関係

住民票（記載事項に省略のないもの。ただし、マイナンバーの記載のないもの）

※ 申立人が候補者の場合は、申立人関係のところで用意した住民票1通で足りません。

(7) 法務局で本人の「登記されていないことの証明書」を取得する。

※ 取得方法については、7ページを参考にしてください。

STEP 7

※ 本人が不動産を有している場合には、法務局で不動産登記簿謄本（全部事項証明書）を取得してください。

(8) 診断書の「3 判断能力についての意見」欄を確認する。

3 判断能力についての意見

契約等の意味・内容を自ら理解し、判断することができる。⇒判断能力が十分見込めます

支援を受けなければ、契約等の意味・内容を自ら理解し、判断することが難しい場合がある。⇒補助申立て

支援を受けなければ、契約等の意味・内容を自ら理解し、判断することができない。⇒保佐申立て

支援を受けても、契約等の意味・内容を自ら理解し、判断することができない。⇒後見申立て

(意見) ※ 慎重な検討を要する事情等があれば、記載してください。

STEP 8

STEP 9 (9) 申立書（書式集1～5ページ）・申立書附票（書式集6～8ページ）を作成する。

(10) ① 後見予算表（書式集12ページ）を作成する。

② 財産目録（書式集13～14ページ）を作成する。

STEP 10

※ 「申立てに必要な本人の財産関係資料」（8ページ）と「財産関係資料のコピーの取り方」（9ページ）を読み、定期的な収支・財産に関する資料を準備する。

(11) 必要な書類の準備がすべて整ったら、以下の連絡先に申立面談の予約をする（予約前に10ページのチェックリストにより最終確認を行ってください）。

札幌家庭裁判所 後見・財産管理センター 直通電話番号 011-221-7410

予約電話受付時間 平日 午前8:30～12:15 午後1:00～5:00

STEP 11

※ 面談日（申立日）には、申立書等の審査後、申立人及び候補者から直接詳しくお話しをお聞きすることになりますので、「申立人」及び「候補者」の都合の良い日をいくつか用意した上で連絡をしてください。当日の手続は、2時間程度の時間が必要ですので、あらかじめご了承ください。

※ 保佐・補助開始申立ての場合には、本人の意向を確認するため、申立人と候補者に加えて本人も同伴していただく必要があります。本人の体調等により来庁が難しい場合は、予約の際にその旨をお伝えください。

【申立てに必要な費用について（面談日に当庁地下1階の売店でも購入できます）】

○申立手数料 800円（収入印紙）

※ 保佐又は補助の場合で「代理権付与」「同意権付与」等の申立てをする場合には、申立事項1つにつき800円（収入印紙）を加算

○後見登記手数料 2600円（収入印紙）

○郵便切手3180円分

（内訳 1000円×1枚、100円×8枚、82円×15枚、20円×2枚、10円×10枚、1円×10枚）

※ 保佐又は補助の場合は、1072円（1000円×1枚、20円×3枚、10円×1枚、1円×2枚）を加算

○鑑定料 5万円～10万円程度

※ 精神鑑定が必要であると裁判所が判断した場合に、診断書附票に記載されている医師の鑑定費用金額を、申立人に納めていただきます

「登記されていないことの証明書」の取得方法

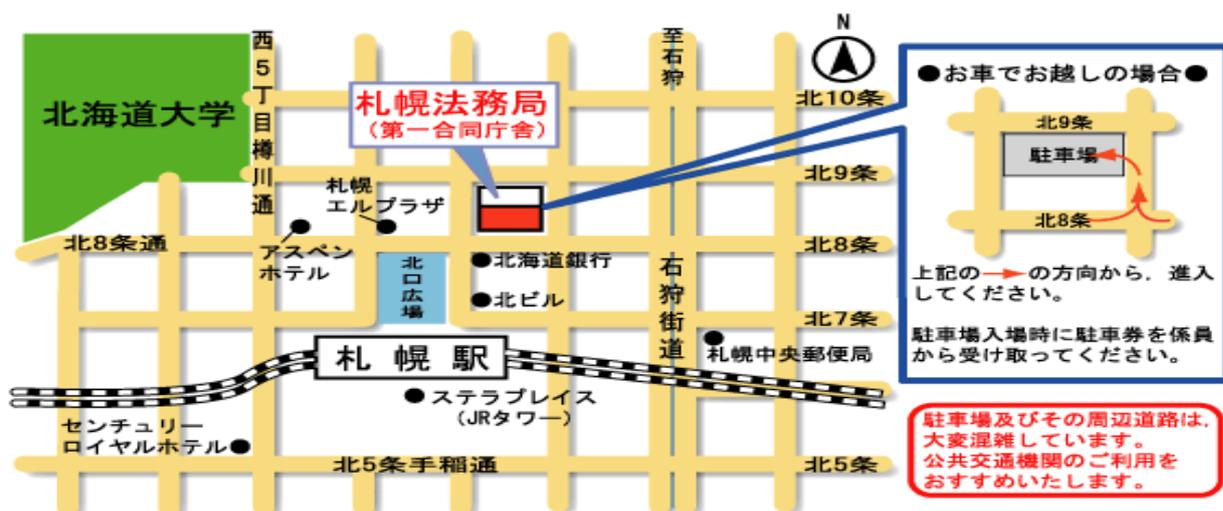
① 札幌法務局（窓口で交付）

〒060-0808 札幌市北区北8条西2丁目1番1

札幌第1合同庁舎1階（印紙販売）・2階（証明書発行）

電話：011-709-2311（代表）

- 交通手段 1 地下鉄南北線「さっぽろ」（出口1利用）下車、徒歩8分
2 地下鉄東豊線「さっぽろ」（出口17利用）下車、徒歩10分
3 JR「札幌」駅（北口利用）下車、徒歩5分
北海道銀行札幌駅北口支店 北側



上記地図は札幌法務局ホームページより転載

② 東京法務局（郵送で取寄せ）

〒102-8226 東京都千代田区九段南1-1-15 九段第2合同庁舎

東京法務局民事行政部後見登録課

（電話 03-5213-1360）

〈注意！〉

- ① 証明書を申請するときには、申請者と本人の関係が分かる戸籍等が必要になりますので、事前に申立人及び本人のつながりのわかる戸籍・住民票を取得の上、申請してください。
また、申請書と一緒に戸籍を法務局の窓口へ提出する際には、必ず戸籍の「原本還付（げんぼんかんぷ ※戸籍謄（抄）本の原本を返してもらうこと）」を受けてください。
- ② 「本人について、成年被後見人、被保佐人、被補助人、任意後見契約の本人とする記録がないことの証明書」を申請してください。
- ③ 証明書の申請に関する質問等は、直接、法務局へお問い合わせください。

申立てに必要な本人の財産関係資料

- ※ 以下において「(原本)」とあるもの以外はコピーの提出をお願いします。
- ※ コピーの方法については、9ページを参照してください。
- ※ 準備できない資料がある場合には、申立時にお知らせください。

定期的な収入

- ◆ 年金の振込通知書（※公的年金等の源泉徴収票及び直近の年金証書でも可）
- ◆ 不動産収入等がある場合は、直近の確定申告書（マイナンバーの記載のない控え）及び収支内訳書

定期的な支出

- ◆ 入院費、施設費の領収書（※直近3か月分～おむつ代等を含む）
- ◆ 医療費及び介護費用等の領収書
- ◆ 道・市民税の通知書（※ない場合は、納税証明書又は再発行）
- ◆ 固定資産税の通知書
- ◆ （後期高齢者）健康保険料の通知書
- ◆ 介護保険料の通知書
- ◆ 家賃の領収書（本人名義で借りている場合）
- ◆ その他恒常的な支出に関する領収書

預 貯 金

- ◆ 本人名義の通帳の全部（※残高証明書だけでは不可）
- ◆ 定期預金などの証書
- ◆ 証券会社からの通知書

生命保険・損害保険等

- ◆ 本人が契約者又は受取人となっている保険契約の証書，証券（※裏面に記載がある場合は裏面もコピー）

不 動 産

- ◆ 法務局の登記簿謄本（原本）又は登記事項証明書（原本）
※権利証だけでは不可，抵当権が設定されている場合は，共同担保目録も必要
- ◆ 固定資産税の通知書のうち，資産の内訳ページ（※ない場合は，市町村役場の固定資産評価証明書）

負 債

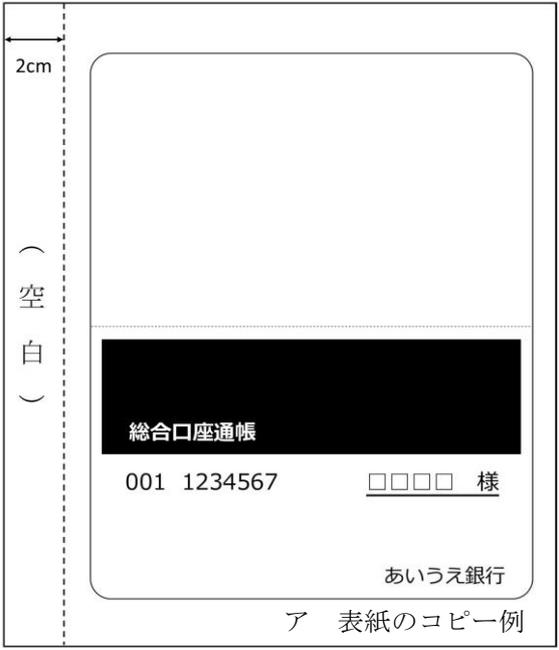
- ◆ 住宅ローンの償還表
- ◆ 金融機関等の督促状，残高証明書

そ の 他

- ◆ 株式の保護預かり通知書等
- ◆ 本人が相続権を有する相続財産関係資料（被相続人名義のもの）（※預貯金，生命保険，不動産，負債などすべて）

財産関係資料のコピーの取り方

- 1 用紙はA4判（今お読みいただいている用紙のサイズです）にコピーしてください。どうしても入りきらないときは、A3判でもかまいません。
- 2 裁判所の記録は「A4判縦、横書き」で、「左とじ」です。したがって、コピーをしている際は、A4用紙を縦にしたときに、その左側に2センチ程度の空白（とじしろ）ができるようにしてください。
- 3 預貯金通帳のコピーを取るときは、次の部分をコピーしてください。



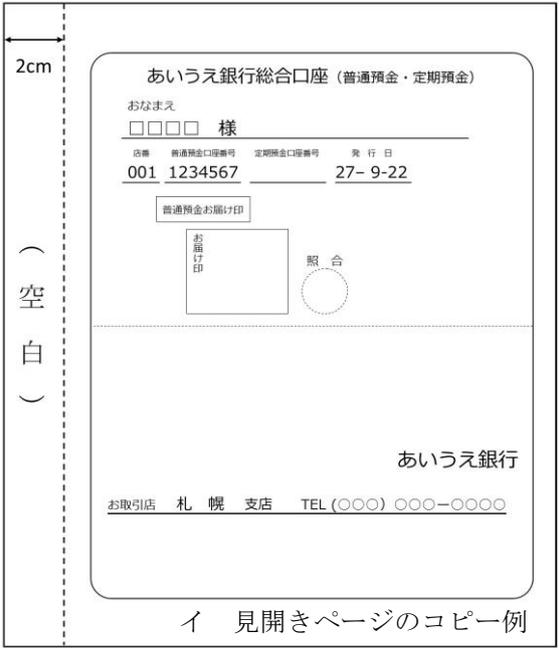
ア 表紙のコピー例

ア 表紙（金融機関名、通帳の種類、店番号、口座番号、口座の名義人の氏名などの記載があります）

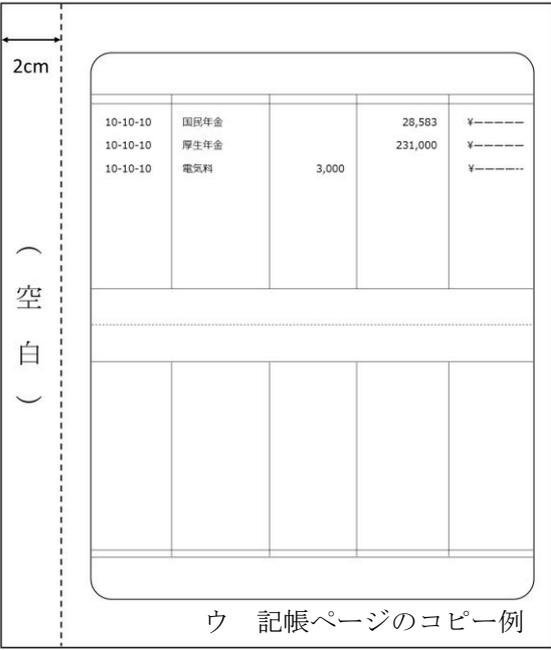
イ 表紙をめくってすぐの見開きページ（口座番号、取扱支店名などの記載があります）

ウ 提出日のなるべく直前に記帳した上、記帳されている全部のページ（最低1年の履歴が必要です。1年以内に通帳を繰り越した場合は、その直前の通帳も同様にコピーして提出してください）

※ 通帳のコピーは、コピーしたままのものを提出してください（通帳の形に切らないでください）



イ 見開きページのコピー例



ウ 記帳ページのコピー例

10-10-10	国民年金		28,583	¥-----
10-10-10	厚生年金		231,000	¥-----
10-10-10	電気料	3,000		¥-----

- 4 保険証券などの裏表両面に記載があるものは、両面ともコピーしてください。
 - 5 複数の領収書等を1枚の用紙にコピーするときは、種類ごとにまとめてください。
- 例) 医療費に関する領収書, 食費・被服費等の生活費に関する領収書, 光熱水費に関する領収書

受付印

記 載 例

収入印紙	円	
予納郵便切手	円	
予納収入印紙	円	

後見・ 保佐・ 補助開始申立書

(この欄に収入印紙をはる。)

(はった印紙に押印しないでください。)

準口頭	関連事件番号	年(家)第	号
-----	--------	-------	---

札幌 家庭裁判所	御中	申立人の 署名押印 又は記名押印	後 見 一 郎	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">後見印</div>
〇〇年 〇〇月 〇〇日				

添付書類

申 立 人	住所	〒□□□-□□□□ 電話 (△△△-△△△-△△△△)		
	氏名	後 見 一 郎	大正 昭和 平成 ☆☆年 ☆月 ☆☆日 生	
	職業	会社員・自営業・無職 その他 ()	勤務先 (株)	電話 (△△△-△△△-△△△△) 〇〇市〇条〇丁目〇番〇号
	本人との関係	1 配偶者 2 父母 (3) 子 (長男) 4 兄弟姉妹甥姪おじおば 5 その他 ()		
本 人	本籍	北海道 都(道) 札幌市〇〇区〇条〇丁目〇番 府 県		
	住民票の住所	<input checked="" type="checkbox"/> 申立人と同じ 〒 - 電話 () () 方)		
	施設・病院の入所先	施設・病院名等 札幌後見病院 <input type="checkbox"/> 入所等していない 〒□□□-□□□□ 電話 (△△△-△△△-△△△△) 札幌市〇区〇条〇丁目〇〇番〇〇号		
	氏名	後 見 太 郎	男 女 大正 昭和 平成 ☆年 ☆月 ☆☆日 生	
成 年 後 見 人 等 候 補 者	住所	〒 - 電話 (- -) () 方)		
	氏名		大正 昭和 平成 年 月 日 生	
	職業	会社員・自営業・無職 その他 ()	勤務先	電話 (- -)
	本人との関係	1 配偶者 2 父母 3 子 () 4 兄弟姉妹甥姪おじおば 5 その他 ()		

※ 申立人と成年後見人等候補者が同一の場合は、□にチェックをしてください。その場合は、成年後見人等候補者欄の記載は省略して構いません。

<p>申立ての趣旨</p>	<p>●診断書から1. 2. 3いずれかを○で囲んでください。</p> <p>→</p> <p>●保佐申立ての場合は必要とする場合に限り、当てはまる番号(1)(2)も○で囲んでください。</p> <p>→</p> <p>●補助申立ての場合は必ず当てはまる番号(1)(2)を○で囲んでください。</p>	<p>① 本人について後見を開始するとの審判を求めらる</p> <p>2 本人について保佐を開始するとの審判を求めらる</p> <p>(1) 本人のために別紙代理行為目録記載の行為について保佐人に代理権を付与するとの審判を求めらる。</p> <p>(2) 本人が別紙同意を要する行為目録記載の行為(日用品の購入その他日常生活に関する行為を除く。)をするにも、その保佐人の同意を得なければならぬとの審判を求めらる。</p> <p>3 本人について補助を開始するとの審判を求めらる。</p> <p>(1) 本人のために別紙代理行為目録記載の行為について補助人に代理権を付与するとの審判を求めらる。</p> <p>(2) 本人が別紙同意行為目録記載の行為(日用品の購入その他日常生活に関する行為を除く。)をするには、その補助人の同意を得なければならぬとの審判を求めらる。</p>	<p style="text-align: center; border: 3px double black; padding: 5px;">記 載 例</p>
<p>申立ての実情</p>	<p>申立ての動機※(複数選択可)</p>	<p>① 預貯金等の払い戻し・解約のため</p> <p>② 保険金、年金の請求・受領のため</p> <p>3 不動産の処分のため (<input type="checkbox"/>売却<input type="checkbox"/>賃貸借<input type="checkbox"/>抵当権設定)</p> <p>4 裁判手続きのため (<input type="checkbox"/>訴訟<input type="checkbox"/>調停<input type="checkbox"/>相続放棄<input type="checkbox"/>破産)</p> <p>5 遺産分割協議のため</p> <p>6 施設入所又は福祉サービス契約のため</p> <p>7 本人の財産管理のため</p> <p>8 不要な売買契約等の被害防止のため</p> <p>9 その他 []</p>	<p>本人は、平成20年に勤めていた会社をやめ、申立人と自宅で生活していましたが、平成23年9月頃に脳梗塞を発症し、〇〇病院に入院しました。</p> <p>一度は回復して自宅で療養していましたが、平成25年4月に2度目の脳梗塞を発症し、現在は申立書記載の病院に入院しています。</p> <p>この度、満期になった定期預金を解約して本人の入院費に充てようと考え、本人の預金を下ろすために●●銀行にいったところ、銀行員から、後見人にならないと解約も預金の支払いもできませんと言われてしまい、後見人を選ぶ必要が生じたので、この申立てをします。</p> <p>なお、候補者は本人の面倒をみてきており、事情を知っている申立人としません。</p> <p>てください。</p>

※ 該当する番号を○で囲んでください。

受付印

記 載 例

収入印紙	円
予納郵便切手	円
予納収入印紙	円

後見・ 保佐・ 補助開始申立書

(この欄に収入印紙をはる。)

(はった印紙に押ししないでください。)

準口頭	関連事件番号	年(家)第	号
-----	--------	-------	---

札幌 家庭裁判所	御中	申立人の 署名押印 又は記名押印	保 佐 一 郎	保 佐 印
〇〇年 〇〇月 〇〇日				

添付書類	
------	--

申 立 人	住所	〒□□□-□□□□ 電話 (△△△-△△△-△△△△)		
	札幌市〇〇区〇条〇丁目〇番〇-〇〇〇号	(方)		
	フリガナ 氏名	ホ 保 サ 佐 イチ 一 ロウ 郎	大正 昭和 平成	☆☆年 ☆月 ☆☆日 生
	職業	会社員・自営業・無職 その他 ()	勤務先	(株)・・・ 電話 (△△△-△△△-△△△△)
本人との関係	1 配偶者 2 父母 ③ 子 (長男) 4 兄弟姉妹甥姪おじおば 5 その他 ()			

本 人	本籍	北海道 ××郡×××町××字×××番地		
	住民票の住所	〒×××-×××× 電話 (△△△-△△△-△△△△)		
	施設・病院の入所先	施設・病院名等 <input checked="" type="checkbox"/> 入所等していない 〒□□□-□□□□ 電話 (- -)		
	フリガナ 氏名	ホ 保 サ 佐 タ 太 ロウ 郎	男 女	大正 昭和 平成 ☆年 ☆月 ☆☆日 生

成年 後見 人等 候補 者	住所	〒 - 電話 (- -)		
	フリガナ 氏名	大正 昭和 平成 年 月 日 生		
	職業	会社員・自営業・無職 その他 ()	勤務先	電話 (- -)
	本人との関係	1 配偶者 2 父母 3 子 () 4 兄弟姉妹甥姪おじおば 5 その他 ()		

※ 申立人と成年後見人等候補者が同一の場合は、□にチェックをしてください。その場合は、成年後見人等候補者欄の記載は省略して構いません。

受付印

記 載 例

収入印紙	円
予納郵便切手	円
予納収入印紙	円

後見・ 保佐・ 補助開始申立書

(この欄に収入印紙をはる。)

(はった印紙に押印しないでください。)

準口頭	関連事件番号	年(家)第	号
-----	--------	-------	---

札幌 家庭裁判所 御中	申立人の 署名押印 又は記名押印	補 助 花 子	補 助 印
〇〇年 〇〇月 〇〇日			

添付書類	
------	--

申 立 人	住所	〒□□□-□□□□ 電話 (△△△-△△△-△△△△)		
	氏名	ホ 補 ジョ 助 ハナ ヲ子	大正昭和平成 ☆年 ☆月 ☆☆日 生	
	職業	会社員・自営業・無職 その他 ()	勤務先	電話 (△△△-△△△-△△△△)
	本人との関係	1 配偶者 2 父母 3 子 (長男) 4 兄弟姉妹甥姪おじおば ⑤ その他 (本人)		
本 人	本籍	北海道 都(道) 札幌市〇〇区〇条〇丁目〇番		
	住民票の住所	<input checked="" type="checkbox"/> 申立人と同じ 〒 - 電話 (- -)		
	施設・病院の入所先	<input checked="" type="checkbox"/> 入所等していない 〒 - 電話 (- -)		
	氏名	ホ 補 ジョ 助 ハナ ヲ子	男(女) 大正昭和平成 ☆年 ☆月 ☆☆日 生	
成 年 後 見 人 等 候 補 者	住所	〒△△△-△△△△ 電話 (□□□-□□□-□□□□)		
	氏名	ホ 補 ジョ 助 イチ ロウ 郎	大正昭和平成 ☆☆年☆☆月☆☆日 生	
	職業	会社員・自営業・無職 その他 ()	勤務先	(株)○○○○ 電話 (□□□-□□□-□□□□) 札幌市×区×条×丁目×番×-×××号
	本人との関係	1 配偶者 2 父母 3 ③ (長男) 4 兄弟姉妹甥姪おじおば 5 その他 ()		

※ 申立人と成年後見人等候補者が同一の場合は、□にチェックをしてください。その場合は、成年後見人等候補者欄の記載は省略して構いません。

後見予算表 (記載例)

※以下①～⑮の金額を「月額」「年額」をみれなく記入し 金額の確認できる資料のコピーを以下の順番で用意してください。受付当日、記入金額をコピーで確認します。

本人氏名 後見太郎

作成者氏名 後見一郎

1 定期的な収入

	年金、給与、家賃収入等	月額	年額	管理状況等	※必要な資料
①	厚生年金	150,000 円	1,800,000 円	南北銀行東西支店の口座に振込	収入金額の確認できる通帳以外のコピー(通知ハガキ、契約書、給料明細など)。年金が2ヶ月分支給される場合は総支給額を2で割り月額を記入。月額に12を掛けて年額を記入。小数点以下切捨。
②	賃料	150,000 円	1,800,000 円	甲乙銀行丙丁支店の口座に振込	
③		円	円		
④		円	円		
合計 (A)		300,000 円	3,600,000 円		

2 定期的な支出

	種 類	月額	年額	管理状況等	※必要な資料
日常的な支出	⑤ 入院費・施設費	100,000 円	1,200,000 円	南北銀行東西支店の口座から引落	最近3ヶ月分の請求書のコピー。月額はその平均額。年額は月額に12をかけて記入。
	⑥ 医療費(薬代等)	4,500 円	54,000 円		同 上
	⑦ 住居費(家賃等)	円	円		家賃のわかる契約書のコピー。
	⑧ 生活費	円	円		
公租公課	⑨ 健康保険料	12,000 円	144,000 円		通知書コピー必要。年額を12で割り月額を記入。小数点以下切捨。
	⑩ 介護保険料	2,500 円	30,000 円		同 上
	⑪ 所得税	7,000 円	84,000 円		同 上
	⑫ 市・道民税	3,000 円	36,000 円		同 上
	⑬ 固定資産税・都市計画税	20,000 円	240,000 円		同 上
		円	円		
⑭	後見事務費(交通費等)	10,000 円	120,000 円		
⑮ その他	保険掛金	円	円		保険証券のコピー必要。
	名古屋一郎に対する借金の返済	50,000 円	600,000 円		
		円	円		
合計 (B)		209,000 円	2,508,000 円		

毎月の収支は (A) - (B)
<input checked="" type="checkbox"/> 黒字 <input type="checkbox"/> 赤字 91,000 円

財産目録（１）（記載例）

本人氏名 後見太郎

作成者氏名 後見一郎

1 預貯金

	金融機関名 (本支店名も記入)	種類	口座番号	金額 (残額)	管理状況等
①	南北銀行東西支店	普通	1234567	805,320 円	申立人が管理
②	甲乙銀行丙丁支店	普通	7654321	4,805,651 円	申立人が管理
③	同	定期	9876543	8,000,000 円	申立人が管理
④				円	
⑤				円	
預貯金額合計				13,610,971 円	

2 保険（生命保険・損害保険等）

	保険会社名	種類	保険証券番号	保険金額	管理状況等
①	北海道生命	養老保険	1234000	5,000,000 円	保険証券は申立人が管理
②	日本郵政公社	養老保険	5555555	3,000,000 円	保険証券は申立人が管理
保険金額合計				8,000,000 円	

3 不動産

	所在地・地番	地目・種類	固定資産評価額	管理状況等
①	札幌市中央区大通西12丁目1番1	宅地	15,000,000 円	
②	札幌市中央区大通西12丁目1番地1	居宅	10,000,000 円	
③	釧路市柏木町4番地7	共同住宅	25,000,000 円	全4戸。うち1戸は空家
④			円	
⑤			円	

4 負債

	種類・債権者氏名等	債務額	管理状況等
①	借入金債務・名古屋一郎	1,500,000 円	毎月5万円ずつ返済
②		円	

5 その他（株・債券・現金等）

	種類等	金額	管理状況等
①	株式（〇〇銀行株を1000株）	5,000,000 円	〇〇証券△△支店で保管中
②	投資信託	3,000,000 円	申立人が管理
③		円	

財産目録（２） （記載例）

6 本人が相続分を有する遺産（ある場合に記入してください。）

	遺産の種類（不動産は所在・地番を，預貯金は金融機関名，口座番号等を記入してください。）	金額	管理状況等
①	亡浦河次郎名義の南北銀行〇×支店普通預金口座（口座番号〇138111）	6,000,000 円	申立人が管理
②	亡浦河次郎名義の土地（函館市上新川町1番8）	12,000,000 円	
③	亡浦河次郎名義の居宅（函館市上新川町1番地8）	4,000,000 円	
④		円	
⑤		円	
合計		22,000,000 円	
法定相続分の総額（本人の相続分は8分の1）		2,750,000 円	

（以下の欄は，財産目録（1）で書ききれなかった場合にご使用ください。）

7 自動車

	種類等	金額	管理状況等
1	車種：三菱・パブリック，登録番号：札幌36へ1234号，車台番号：ABC12-34567D	2,500,000 円	金額は購入額である。申立人が自宅で管理
2		円	
3		円	
4		円	
5		円	
6		円	

	種類等	金額	管理状況等
1		円	
2		円	
3		円	
4		円	
5		円	
6		円	